



特集 | いまなぜポートフォリオなのか 学生評価・教員評価の新たな展開として

医療・看護教育の場に、ポートフォリオが広がっている。

ポートフォリオとは、学習者の達成、向上、成長についての多面的な情報を「証拠」として継続的に収集し、それを教員や学習者自身にフィードバックして、よりよい決定や指導を行うための記録、そしてそれを活用した評価法を指している（本文31ページ）。

ポートフォリオを教育に導入するメリットは、学習の軌跡がわかり、学習者は自己評価でき、教員も学習者の成長過程を合わせて評価できる点である。

本特集では、ポートフォリオの本質に迫り、導入の手順、ポイントを述べ、現場ではどのように取り入れ活用しているのかをレポートする。また、教員の教育活動の評価のために用いられるティーチング・ポートフォリオについても紹介する。